

令和2年 宮崎県の交通事故

《交通事故発生マップ》



《宮崎県警察交通部ツイッター》



宮崎県警察本部交通部

用語等の解説

1 交通事故統計の対象

道路交通法第2条第1項第1号に規定する道路上において、車両、路面電車及び列車の交通によって起こされた人の死亡又は負傷を伴う事故とする。

なお、物損事故は交通事故統計の対象外であるが、「宮崎県の交通事故」（本冊子）は、宮崎県内の発生件数（概数）を表記している。

2 「子供」とは

幼児、小学生、中学生の総称をいう。

3 「一般少年」とは

中学校を卒業した15歳以上20歳未満で、高校生以外の者をいう。

4 「若者」とは

中学校を卒業した15歳以上25歳未満の者をいう。

若者は、高校生、一般少年、20歳以上25歳未満の者に分類される。

5 「若者運転者」とは

中学校を卒業した15歳以上25歳未満で、二輪・四輪を運転していた者をいう。

6 「高齢者」とは

65歳以上の者をいう。

7 「昼」とは、「夜」とは

「昼」とは、日の出から日没までをいい、「夜」とは、日没から日の出までをいう。

8 「二輪車」とは

自動二輪車及び原動機付自転車をいう。

目 次

1	令和2年中の交通事故の概要	1
2	過去10年間の交通事故の推移	3
3	交通事故の発生状況	4
4	交通死亡事故の発生状況	13
5	飲酒（酒酔い・酒気帯び）運転の交通事故	18
6	子供（中学生以下）の交通事故	20
7	若者の交通事故	22
8	高齢者（65歳以上）の交通事故	25
9	歩行者の交通事故	30
10	自転車の交通事故	32
11	二輪車の交通事故	33
12	安全運転管理者事業所の交通事故	34
13	運転免許保有者数・免許証自主返納者数の推移	35
14	令和3年度の主な交通安全活動計画	36
15	宮崎県交通事故相談所の業務案内	37

1 令和2年中の交通事故の概要

(1) 全国

令和2年中の交通事故は、発生件数、死者数、負傷者数のいずれも前年より減少し、死者数は2,839人と、4年連続で戦後最小を更新して初めて3,000人を下回った。

しかしながら、第10次交通安全基本計画において掲げた、令和2年までに24時間死者数を2,500人以下とする目標については達成できなかった。

(2) 宮崎県

ア 概要

令和2年中の交通事故は、発生件数が5,126件、死者数が36人、負傷者数が5,741人と、発生件数、死者数、負傷者数のいずれも前年より減少し、「第10次宮崎県交通安全計画」に掲げた「令和2年までに年間の24時間死者39人以下、死傷者数を9,000人以下」の目標を3年連続で達成した。

しかしながら、脇見・ぼんやり、安全不確認等による交通事故の割合は73.2%と依然として高い水準にあり、さらに、全死者数に占める65歳以上の高齢者の割合が、過去最高であった令和元年の74.4%を上回る83.3%となるなど、脇見等による交通事故抑止対策や、高齢歩行者や高齢運転者対策が課題となっている。

イ 特徴

- 時間帯別では、17時から19時までの間の発生が最も多く、次いで7時から9時までの間の発生が多かった。
 - ・ 17時から19時までの間 9 2 3 件（前年比 - 2 5 6 件 全事故の1 8. 0%）
 - ・ 7時から9時までの間 9 0 0 件（前年比 - 2 2 0 件 全事故の1 7. 6%）

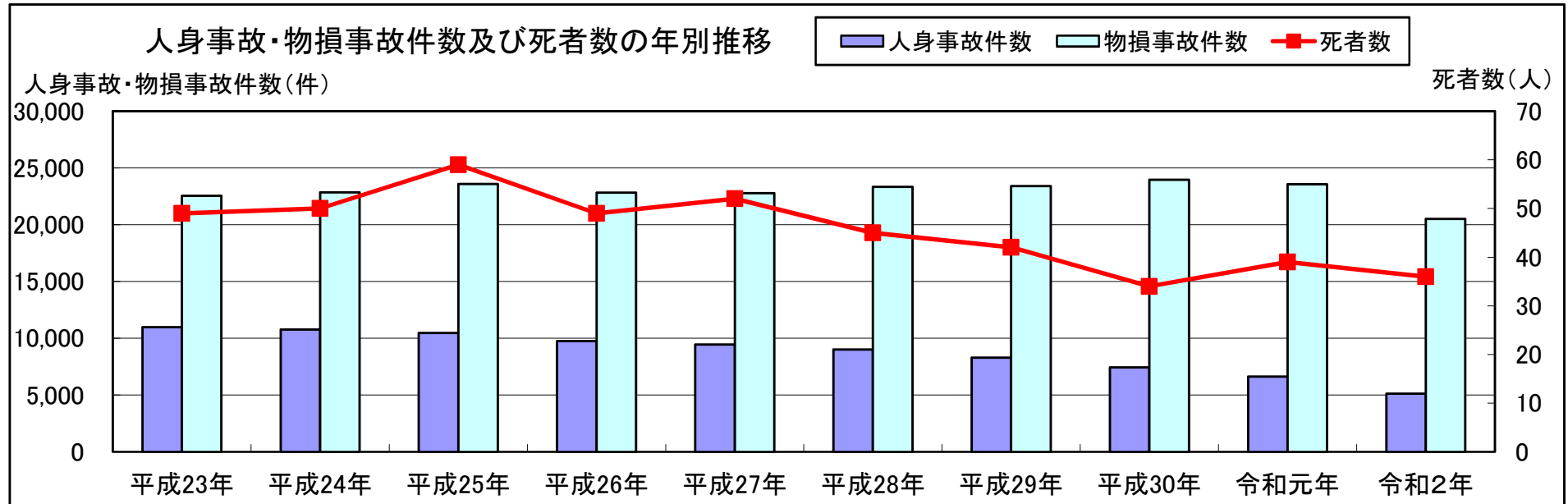
- 道路形状別では、交差点（交差点付近を含む）での発生が最も多く、次いで直線道路での発生が多かった。
 - ・ 交差点（交差点付近を含む） 2, 5 4 8 件（前年比 - 5 0 9 件 全事故の4 9. 7%）
 - ・ 直線道路 1, 9 8 3 件（前年比 - 7 8 1 件 全事故の3 8. 7%）

- 類型別では、追突事故と出合頭事故が全事故の6 4. 7%を占めた。
 - ・ 追突事故 1, 9 4 6 件（前年比 - 7 1 2 件 全事故の3 8. 0%）
 - ・ 出合頭事故 1, 3 6 9 件（前年比 - 3 6 5 件 全事故の2 6. 7%）

- 第1当事者の年代別では、高齢者（65歳以上）の事故が最も多く、次いで20歳代の事故が多かった。
 - ・ 高齢者 1, 4 5 1 件（前年比 - 4 3 1 件 全事故の2 8. 3%）
 - ・ 20歳代 8 9 4 件（前年比 - 2 2 6 件 全事故の1 7. 4%）

- 原因別では、前方不注意、動静不注視、安全不確認に起因する事故が、全事故の7 3. 2%を占めた。
 - ・ 前方不注意 1, 2 4 0 件（前年比 - 5 1 0 件 全事故の2 4. 2%）
 - ・ 動静不注視 9 2 0 件（前年比 - 2 4 9 件 全事故の1 7. 9%）
 - ・ 安全不確認 1, 5 9 4 件（前年比 - 3 8 3 件 全事故の3 1. 1%）

2 過去10年間の交通事故の推移



年 別		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
人身事故	発 生(件)	10,967	10,779	10,458	9,759	9,455	9,015	8,293	7,446	6,621	5,126
	死 者(人)	49	50	59	49	52	45	42	34	39	36
	負傷者(人)	13,097	12,837	12,589	11,534	10,958	10,280	9,251	8,224	7,432	5,741
物損事故(件)		22,550	22,854	23,597	22,833	22,772	23,336	23,399	23,949	23,576	20,511
総事故件数		33,517	33,633	34,055	32,592	32,227	32,351	31,692	31,395	30,197	25,637

3 交通事故の発生状況

(1) 前年との比較

区 分		令和2年	令和元年	増減数	増減率(%)
全 国	発 生(件)	309,178	381,237	-72,059	-18.9
	死 者(人)	2,839	3,215	-376	-11.7
	負傷者(人)	369,476	461,775	-92,299	-20.0
宮 崎 県	発 生(件)	5,126	6,621	-1,495	-22.6
	死 者(人)	36	39	-3	-7.7
	負傷者(人)	5,741	7,432	-1,691	-22.8
	物損事故(件)	20,511	23,576	-3,065	-13.0

(2) 各署別発生状況

区 分	発 生(件)			死 者(人)			負傷者(人)		
	令和2年	令和元年	増減数	令和2年	令和元年	増減数	令和2年	令和元年	増減数
宮崎北	1,351	1,832	-481	2	4	-2	1,519	2,009	-490
宮崎南	908	1,134	-226	4	2	2	985	1,266	-281
日 南	219	230	-11	1	2	-1	244	256	-12
串 間	20	38	-18	2	5	-3	21	42	-21
都 城	984	1,235	-251	4	7	-3	1,106	1,398	-292
小 林	221	262	-41	3	3		258	315	-57
えびの	24	29	-5		2	-2	28	32	-4
高 岡	138	204	-66	5		5	150	236	-86
西 都	125	154	-29	2	3	-1	140	178	-38
高 鍋	289	382	-93	5	3	2	352	455	-103
日 向	341	475	-134	4	4		369	525	-156
延 岡	449	551	-102	3	3		493	602	-109
高千穂	36	47	-11	1		1	46	58	-12
高速隊	21	48	-27		1	-1	30	60	-30
合 計	5,126	6,621	-1,495	36	39	-3	5,741	7,432	-1,691

(3) 月別発生状況

区 分	発 生(件)	死 者(人)	負傷者(人)
1 月	464	2	525
2 月	459	5	523
3 月	472	2	524
4 月	414	5	471
5 月	326	3	377
6 月	383	2	424
7 月	416	2	464
8 月	392	3	434
9 月	372	1	411
10 月	429	3	467
11 月	452	4	509
12 月	547	4	612
合 計	5,126	36	5,741

(4) 曜日別発生状況

区 分	発 生(件)	死 者(人)	負傷者(人)
日 曜	481	5	558
月 曜	781	4	873
火 曜	804	5	898
水 曜	744	8	827
木 曜	798	5	881
金 曜	826	5	908
土 曜	692	4	796
合 計	5,126	36	5,741

(5) 天候別発生状況

区 分	晴	曇	雨	霧・雪	合 計
発 生(件)	3,481	942	701	2	5,126
死 者(人)	24	6	6		36
負傷者(人)	3,896	1,052	790	3	5,741

(6) 時間帯別発生状況

区分	発生 (件)	死者 (人)	負傷者 (人)
0～1	23	0	28
1～2	22	0	27
2～3	18	1	20
3～4	15	0	16
4～5	16	0	21
5～6	28	2	33
6～7	104	1	117
7～8	461	0	518
8～9	439	1	491
9～10	334	3	377
10～11	327	0	366
11～12	327	3	367
12～13	303	1	340
13～14	303	3	346
14～15	300	3	331
15～16	342	4	380
16～17	375	3	417
17～18	507	1	569
18～19	416	6	457
19～20	203	0	224
20～21	99	0	113
21～22	63	2	70
22～23	58	1	67
23～24	43	1	46
合計	5,126	36	5,741

(7) 昼夜別発生状況

区分	発生 (件)	死者 (人)	負傷者 (人)
昼	4,128	25	4,609
前年比	-1,099	7	-1,270
構成率	80.5%	69.4%	80.3%
夜	998	11	1,132
前年比	-396	-10	-421
構成率	19.5%	30.6%	19.7%
合計	5,126	36	5,741
前年比	-1,495	-3	-1,691

(8) 路線別発生状況

区 分		発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
高速道路・自専道		22	(-1)	30
国 道	10 号	659	3 ()	775
	218 号	33	1 (1)	42
	219 号	69	(-1)	78
	220 号	154	(-4)	177
	221 号	95	1 (-3)	102
	222 号	48	()	52
	268 号	63	()	79
	269 号	161	(-1)	183
	その他	66	1 (1)	73
	小 計	1,348	6 (-7)	1,561
県 道		1,212	11 (5)	1,358
市 町 村 道		2,163	14 (-2)	2,399
そ の 他		382	5 (2)	393
合 計		5,127	36 (-3)	5,741

※ () は前年比

(9) 道路形状別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
交 差 点	1,862	10	2,144
交 差 点 付 近	686	4	745
カ ー ブ	179	8	215
直 線	1,983	11	2,195
橋	42		47
ト ン ネ ル	5		12
踏 切	1		1
一般交通の場所	368	3	382
合 計	5,126	36	5,741

(10) 事故類型別発生状況

区 分	人対車両		車 両 相 互					単独	列車	合計
	横断中	その他	正面衝突	追突	出合頭	右左折時	その他			
発 生 (件)	206	158	99	1,946	1,369	437	644	266	1	5,126
死 者 (人)	11	2	2	1	3	1		16		36
負 傷 者 (人)	202	157	146	2,193	1,582	495	706	259	1	5,741

(11) 原因別発生状況(件)

車 両 側 の 原 因						人 側 の 原 因	
安全不確認	1,594	最 高 速 度	3	右 折 違 反	7	飛 出 し	
前方不注意	1,240	徐 行 場 所 反 違	16	左 折 違 反	8	走 行 車 両 の 直 前 ・ 直 後 横 断	
動静不注視	920	交 差 点 行 安 全 進 行	220	過 労 等	3	駐 停 車 車 両 の 直 前 ・ 直 後 横 断	
一時不停止	197	通 行 区 分	15	ド ア 開 放 不 適	3	横 断 歩 道 外 横 断	
信号無視	155	予 測 不 適	5	酒 酔 い 運 転	4	酩 酊 ・ 徘 徊	
ハンドル等 操作不適	435	優 先 通 行 等 妨 害 等	61	追 越 し 違 反	3	信 号 無 視	1
歩行者妨害等	99	横 断 自 転 車 等 妨 害 等	22	横 断 等 禁 止 違 反	4	幼 児 の ひ と り 歩 き	
車 間 距 離 不 保 持	2	通 行 妨 害	3	そ の 他 の 違 反	59	そ の 他 ・ 調 査 不 能	1
小 計 5,078 件						小 計 2 件	
合 計 5,080 件(不明等の						46 件を除く)	

(12) 第一当事者の年代別発生状況

年 代 別		発生(件)
子 供		6
若 者	高 校 生	15
	一 般 少 年	200
	20 ~ 24 歳	509
	小 計	724
25 ~ 29 歳		385
30 歳 代		735
40 歳 代		789
50 歳 代		650
60 ~ 64 歳		372
65 歳 以 上		1,451
不 明		14
合 計		5,126

※ 一般少年とは、中学校を卒業した15歳~20歳未満で、高校生以外の者をいう。

※ 不明とは、ひき逃げ等のため当事者が判明しなかったもの。

(13) 市町村別人口1万人当たり第1当事者数

番号	市町村名	当事者数 (人)	人口 (人)	人口 1万人当たり (人)
1	宮崎市	2,144	397,673	53.91
2	高鍋町	105	20,059	52.35
3	新富町	82	16,444	49.87
4	都城市	771	160,071	48.17
5	木城町	23	4,887	47.06
6	川南町	69	15,172	45.48
7	西都市	129	28,676	44.99
8	国富町	82	18,445	44.46
9	門川町	77	17,351	44.38
10	小林市	190	43,225	43.96
11	日向市	252	59,359	42.45
12	日南市	209	50,145	41.68
13	延岡市	461	118,007	39.07
14	三股町	93	25,417	36.59

番号	市町村名	当事者数 (人)	人口 (人)	人口 1万人当たり (人)
15	都農町	36	9,970	36.11
16	綾町	23	6,871	33.47
17	西米良村	3	986	30.43
18	美郷町	14	4,630	30.24
19	日之影町	10	3,544	28.22
20	高原町	21	8,543	24.58
21	えびの市	42	17,683	23.75
22	諸塚村	3	1,461	20.53
23	串間市	34	16,826	20.21
24	高千穂町	22	11,662	18.86
25	椎葉村	2	2,499	8.00
26	五ヶ瀬町	2	3,439	5.82
県外等		227		
合計		5,126	1,063,045	

※ 人口は令和3年1月1日現在の推計人口

4 交通死亡事故の発生状況

(1) 発生状況

発生 35件 死者 36人 【前年比 発生 -4件 死者 -3人】

(2) 特徴等

ア 年代別死者数は、高齢者が最も多い。

- ・ 高齢者 30人 (全死者数の83.3% 前年比 +1人)
- ・ 40歳代 2人 (全死者数の5.6% 前年比 ±0人)
- ・ 60～64歳 2人 (全死者数の5.6% 前年比 +2人)

イ 状態別死者数は、四輪運転者が最も多い。

- ・ 四輪運転者 15人 (全死者数の41.7% 前年比 +4人)
- ・ 歩行者 13人 (全死者数の36.1% 前年比 -3人)

ウ 昼間及び夜間の死亡事故は、昼間の死亡事故が増加し、夜間の死亡事故が減少した。

- ・ 昼間 発生24件 死者25人 (全死亡事故件数の68.6% 前年比 +6件 +7人)
- ・ 夜間 発生11件 死者11人 (全死亡事故件数の31.4% 前年比 -10件 -10人)

エ 道路形状別では、交差点（交差点付近を含む）が最も多い。

- ・ 交差点（交差点付近含む） 発生14件 死者14人 (全死亡事故件数の40.0% 前年比 -3人)

オ 原因別では、前方不注意、動静不注視、安全不確認によるものが多い。

- ・ 発生11件 死者12人 (全死亡事故件数の31.4% 前年比 -11件 -10人)

(3) 原因別発生状況

原因別		令和2年		令和元年		増減数	
		発生(件)	死者(人)	発生(件)	死者(人)	発生(件)	死者(人)
車 両 側 の 違 反	酒 酔 い 運 転	2	2			2	2
	最 高 速 度	2	2			2	2
	過 労 ・ 居 眠 り 運 転						
	信 号 無 視			1	1	-1	-1
	通 行 区 分			1	1	-1	-1
	一 時 不 停 止	1	1	2	2	-1	-1
	横断歩行者妨害等	4	4	1	1	3	3
	交差点安全進行	1	1	1	1		
	前方不注意・動静不注視	10	11	19	19	-9	-8
	安 全 不 確 認	1	1	3	3	-2	-2
	ハンドル等操作不適	1	1	2	2	-1	-1
	安 全 速 度						
	そ の 他 違 反	2	2			2	2
	調 査 不 能	10	10	9	9	1	1
	調 査 中						
	小 計	34	35	39	39	-5	-4
人 側 の 違 反	1	1			1	1	
合 計	35	36	39	39	-4	-3	

(4) 状態別死者数(人)

区 分		令和2年	令和元年	増減数
四 輪	運 転 中	15	11	4
	同 乗 中	2	5	-3
自動二輪車		2	3	-1
原付自転車		1	1	
歩 行 者		13	16	-3
自 転 車 等		3	3	
合 計		36	39	-3

(5) 年代別死者数(人)

区 分		令和2年	令和元年	増減数
幼	児		1	-1
小 学 生			1	-1
中 学 生				
若 者	高 校 生			
	一 般 少 年	1	1	
	20 ~ 24 歳		2	-2
	小 計	1	3	-2
25 ~ 29 歳				
30 歳 代				
40 歳 代		2	2	
50 歳 代		1	3	-2
60 ~ 64 歳		2		2
65 歳 以 上		30	29	1
不 明				
合 計		36	39	-3

※高齢死者の内75歳以上 24人 80.0%

(6) 路線別発生状況

区 分		令和2年		令和元年		増減数	
		発生(件)	死者(人)	発生(件)	死者(人)	発生(件)	死者(人)
高速道路・自専道				1	1	-1	-1
国 道	10号	3	3	3	3		
	218号	1	1			1	1
	219号			1	1	-1	-1
	220号			4	4	-4	-4
	221号	1	1	4	4	-3	-3
	222号						
	223号						
	268号						
	269号			1	1	-1	-1
	その他	1	1			1	1
	小計	6	6	13	13	-7	-7
県道	10	11	6	6	4	5	
市町村道	14	14	16	16	-2	-2	
その他	5	5	3	3	2	2	
合計	35	36	39	39	-4	-3	

(7) 道路形状別発生状況

区 分	令和2年		令和元年		増減数	
	発生(件)	死者(人)	発生(件)	死者(人)	発生(件)	死者(人)
交 差 点	10	10	12	12	-2	-2
交差点付近	4	4	5	5	-1	-1
カ ー ブ	7	8	7	7		1
直 線	11	11	14	14	-3	-3
踏 切						
その他	3	3	1	1	2	2
合 計	35	36	39	39	-4	-3

5 飲酒(酒酔い・酒気帯び)運転の交通事故

(1) 発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
令和2年	27	3	38
令和元年	53	2	74
増減数	-26	1	-36
増減率(%)	-49.1	50.0	-48.6

(2) 各署別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
宮崎北	5		7
宮崎南	5	1	4
日 南			
串 間	2	1	3
都 城	4		5
小 林	1		3
えびの			
高 岡			
西 都			
高 鍋	3		6
日 向	3	1	3
延 岡	4		7
高千穂			
高 速 隊			
合 計	27	3	38

(3) 時間別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
0 ~ 2	2		7
2 ~ 4	2	1	2
4 ~ 6	2		3
6 ~ 8	4		4
8 ~ 10	1		1
10 ~ 12	6		8
12 ~ 14	2		5
14 ~ 16	3	2	1
16 ~ 18	2		3
18 ~ 20			
20 ~ 22	1		1
22 ~ 24	2		3
合 計	27	3	38

(4) 車種別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
乗 用 車	24	1	37
貨 物 車	2	2	
特 殊 車			
二 輪 車			
軽 車 両	1		1
合 計	27	3	38

6 子供(中学生以下)の交通事故

(1) 発生状況

区 分	幼 児			小 学 生			中 学 生			合 計		
	発生 (件)	死者 (人)	負傷者 (人)	発生 (件)	死者 (人)	負傷者 (人)	発生 (件)	死者 (人)	負傷者 (人)	発生 (件)	死者 (人)	負傷者 (人)
令和2年	9		33	70		88	71		80	150		201
令和元年	10	1	41	80	1	102	70		87	160	2	230
増減数	-1	-1	-8	-10	-1	-14	1		-7	-10	-2	-29

※ 幼児、小学生、中学生の交通事故件数は、幼児、小学生、中学生が第1当事者及び第2当事者となった交通事故件数をいう。

(2) 状態別死傷者数(人)

区 分	歩 行 中	自転車乗用中	自転車同乗中	車同乗中	そ の 他	合 計
幼 児	9	2		22		33
小 学 生	39	34		15		88
中 学 生	6	65		9		80
合 計	54	101		46		201

(3) 時間帯別発生状況

区分	発生 (件)	死者 (人)	負傷者 (人)
0～2			1
2～4			
4～6			1
6～8	19		25
8～10	9		12
10～12	9		13
12～14	7		13
14～16	34		40
16～18	50		71
18～20	20		22
20～22	2		3
22～24			
合計	150		201

(4) 原因別発生状況

区分		発生 (件)	死者 (人)	負傷者 (人)
二・四 輪車	一時不停止			
	ハンドル等操作不適			
	その他の違反			1
自 転 車	安全不確認	29		29
	動静不注視	15		15
	一時不停止	10		10
	交差点安全進行	11		11
	前方不注意	7		4
	徐行場所違反	1		1
	通行区分	1		1
	ハンドル等操作不適	2		2
	その他の違反	4		4
	歩 行 者	飛出し	17	
幼児のひとり歩き		3		3
走行・駐停車車両の 直前・直後横断		2		2
横断不適		1		1
信号無視				
	その他の違反	1		1
違反なし		46		98
合計		150		201

7 若者の交通事故

(1) 若者運転者の交通事故

ア 発生状況

区分	発生 (件)	死者 (人)	負傷者 (人)
令和2年	713	4	814
令和元年	912	4	1,057
増減数	-199		-243
増減率(%)	-21.8		-23.0

※ 若者運転者は、中学校を卒業した15歳以上25歳未満で、二輪・四輪の運転していた者をいう。

※ 第1当事者が若者運転者の交通事故を集計した。

イ 各署別発生状況

区分	発生 (件)	死者 (人)	負傷者 (人)
宮崎北	197	1	234
宮崎南	145		160
日南	19		22
串間			
都城	142	1	160
小林	25		34
えびの	1		2
高岡	19		21
西都	20	1	19
高鍋	33	1	38
日向	43		44
延岡	64		75
高千穂	1		1
高速隊	4		4
合計	713	4	814

ウ 時間帯別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
0～2	15		15
2～4	8		11
4～6	5		9
6～8	91		111
8～10	98		113
10～12	51		59
12～14	66		72
14～16	65	2	68
16～18	117		130
18～20	125	1	141
20～22	40	1	47
22～24	32		38
合 計	713	4	814

エ 原因(違反)別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
前 方 不 注 意	237	1	278
動 静 不 注 視	164	1	182
安 全 不 確 認	141		158
ハンドル等操作不適	76		81
一 時 不 停 止	20	1	25
信 号 無 視	20		25
交 差 点 安 全 進 行	24		32
安 全 速 度	2		2
通 行 区 分	2		1
歩 行 者 妨 害 等	3		3
優 先 通 行 妨 害 等	4		4
左 折 違 反	1		1
右 折 違 反	1		2
横断自転車妨害等	2		2
過 労 ・ 居 眠 り			
そ の 他 の 違 反	14	1	16
調 査 不 能	2		2
合 計	713	4	814

(2) 若者死者の各署別・状態別発生状況(人)

区 分	四 輪 運 転	四 輪 同 乗	二 輪 運 転	二 輪 同 乗	自 転 車 乗 用	歩 行 中	合 計
宮崎北						(1)	(1)
宮崎南			(1)				(1)
日 南							
串 間							
都 城							
小 林	(1)						(1)
えびの							
高 岡							
西 都			1				1
高 鍋							
日 向							
延 岡							
高千穂							
高速隊							
合 計	(1)		1 (1)			(1)	1 (3)

※ 若者の死者数である。

※ () は前年の死者数

8 高齢者(65歳以上)の交通事故

(1) 過去5年間の交通事故等の推移

区 分		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
高齢者人口(人)		329,430	335,026	339,069	342,690	345,558
高齢免許保有者数(人)		202,404	208,778	214,104	218,622	222,833
高齢者の事故	発生(件)	3,511	3,323	3,227	3,098	2,403
	死者(人)	30	20	23	29	30
	負傷者(人)	1,836	1,720	1,643	1,528	1,193
高齢運転者の事故	発生(件)	2,086	1,979	1,920	1,875	1,438
	死者(人)	13	12	11	19	17
	負傷者(人)	2,369	2,208	2,120	2,076	1,599

※ 高齢者の事故の集計方法

発生(件)：高齢者(65歳以上)による第1当事故及び第2当事故の合計件数

死者・負傷者(人)：高齢者(65歳以上)の死者数及び負傷者数

※ 高齢運転者の事故の集計方法

発生(件)：高齢運転者(65歳以上、二輪・四輪)による第1当事故

死者・負傷者(人)：高齢運転者(65歳以上、二輪・四輪)による第1当事故の死者数及び負傷者数

※ 高齢者人口は、各年10月1日現在の県統計

(2) 高齢者の交通事故

ア 署別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
宮 崎 北	546	2	268
宮 崎 南	393	3	183
日 南	141	1	79
串 間	16	2	4
都 城	448	3	221
小 林	114	3	64
え び の	13		6
高 岡	88	4	51
西 都	72	1	40
高 鍋	158	4	78
日 向	162	4	82
延 岡	227	2	99
高 千 穂	21	1	15
高 速 隊	4		3
合 計	2,403	30	1,193

イ 時間帯別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
0 ~ 2	11		7
2 ~ 4	8	1	3
4 ~ 6	18	2	10
6 ~ 8	177	1	88
8 ~ 10	365	4	199
10 ~ 12	453	3	228
12 ~ 14	364	4	180
14 ~ 16	355	5	173
16 ~ 18	390	4	183
18 ~ 20	196	5	80
20 ~ 22	38	1	28
22 ~ 24	28		14
合 計	2,403	30	1,193

ウ 死傷者の状態別発生状況(人)

区 分	四輪運転	二輪運転・同乗	自転車運転・同乗	四輪同乗	歩行中	その他	合 計
死 者(人)	11	2	3	2	12		30
負傷者(人)	729	73	133	126	132		1,193

エ 自宅から事故現場までの距離(歩行者・自転車利用者)

区 分	50m以下	100m以下	500m以下	1km以下	2km以下	2kmを超過	不 明	合 計
死 者(人)	3	1	6	3	1	1		15
負傷者(人)	20	16	54	65	40	65	5	265

オ 安全教育受講状況

区 分	受講後1年以内	受講後1年以上	受講なし(不明)	合 計
死 者(人)	1	1	13	15
負傷者(人)	10	18	162	190

※ 運転免許を保有していない歩行者・自転車利用者について集計

カ 75歳以上の高齢者事故発生状況

区 分	75歳以上の高齢者の事故			75歳以上の高齢運転者の事故			75歳以上の歩行者の事故		
	発生(件)	死者(人)	負傷者(人)	発生(件)	死者(人)	負傷者(人)	発生(件)	死者(人)	負傷者(人)
令和2年	944	24	472	583	8	662	90	11	81
令和元年	1,229	19	602	780	8	876	111	8	104
増 減 数	-285	5	-130	-197		-214	-21	3	-23

※ 75歳以上の高齢者の事故の集計方法

発生(件)：高齢者(75歳以上)による第1当事故及び第2当事故の合計件数

死者・負傷者(人)：高齢者(75歳以上)の死者数及び負傷者数

※ 75歳以上の高齢運転者の事故の集計方法

発生(件)：高齢運転者(75歳以上、二輪・四輪)による第1当事故

死者・負傷者(人)：高齢運転者(75歳以上、二輪・四輪)による第1当事故の死者数及び負傷者数

※ 75歳以上の歩行者の事故の発生件数 75歳以上の歩行者による第1当事故及び第2当事故の合計件数

(3) 高齢運転者の交通事故

ア 署別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
宮 崎 北	316		344
宮 崎 南	233	2	253
日 南	85	1	99
串 間	12	2	10
都 城	271	1	305
小 林	64	2	67
え び の	8		9
高 岡	53	4	61
西 都	48		59
高 鍋	97	1	121
日 向	92	3	95
延 岡	142		153
高 千 穂	14	1	19
高 速 隊	3		4
合 計	1,438	17	1,599

イ 時間帯別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
0 ~ 2	5		6
2 ~ 4	6	1	5
4 ~ 6	11	1	10
6 ~ 8	105	1	122
8 ~ 10	199	4	220
10 ~ 12	266	2	289
12 ~ 14	229	3	256
14 ~ 16	216	3	242
16 ~ 18	246	1	276
18 ~ 20	123	1	135
20 ~ 22	19		23
22 ~ 24	13		15
合 計	1,438	17	1,599

ウ 道路形状別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
交 差 点	597	4	679
交差点付近	153	1	161
トンネル	2		5
橋	4		5
カーブ	58	4	76
直 線	482	6	529
踏 切			
一般交通の場所	142	2	144
合 計	1,438	17	1,599

※交差点及び交差点付近での発生 52.2%

エ 原因別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
安 全 不 確 認	543	1	596
前 方 不 注 意	281	3	329
動 静 不 注 視	173		193
ハンドル等操作不適	138	1	143
交差点安全進行	62		70
一 時 不 停 止	69		82
信 号 無 視	48		57
歩 行 者 妨 害 等	36	1	37
優先通行妨害等	26		28
横断自転車妨害等	5		5
そ の 他 の 違 反	38	2	43
調 査 不 能	19	9	16
合 計	1,438	17	1,599

※脇見等（前方不注意、動静不注視、安全不確認）による事故 69.3%

9 歩行者の交通事故

(1) 発生状況

区 分	令和2年	令和元年	増減数
発 生 (件)	365	396	-31
死 者 (人)	13	16	-3
負 傷 者 (人)	359	390	-31

※ 歩行者の交通事故件数は、歩行者が第1当事者及び第2当事者となった交通事故件数をいう。

(2) 原因別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
信 号 無 視	5	1	4
左 側 通 行			
車 道 通 行	2		2
横断歩道外横断	23		23
斜 め 横 断	6	1	5
駐 停 車 車 両 の 直 前 ・ 直 後 横 断	1		1
走 行 車 両 の 直 前 ・ 直 後 横 断	2		2
横断禁止場所横断	1		1
幼児のひとり歩き	3		3
酩 酊 ・ 徘 徊	6		6
路 上 遊 戯			
路 上 作 業	6		6
飛 出 し	25		26
その他の違反	8		8
調 査 不 能	6	1	5
違 反 な し	271	10	267
合 計	365	13	359

(3) 横断開始場所の状況(1・2当のみ)

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
路地から	14		14
車の陰から	5		5
建物から	6		6
物陰から	4		4
その他路側から・該当なし	336	13	322
合計	365	13	351

(4) 年代別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
幼児	7		8
小学生	33		36
中学生	6		6
高校生	8		9
高齢者	142	12	132
その他	169	1	168
合計	365	13	359

《その他の死者》

20歳未満 0人
20歳代 0人
30歳代 0人
40歳代 0人
50歳代 0人
60-64歳 1人

10 自転車の交通事故

(1) 発生状況

区 分	令和2年	令和元年	増減数
発 生 (件)	608	732	-124
死 者 (人)	3	3	
負 傷 者 (人)	596	722	-126

※ 自転車の交通事故件数は、自転車が第1当事者及び第2当事者となった交通事故件数をいう。

(2) 年代別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)
幼 児	2		2
小 学 生	37		34
中 学 生	65		65
高 校 生	150		151
高 齢 者	137	3	133
そ の 他	217		211
合 計	608	3	596

(3) 原因別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)
動 静 不 注 視	161		163
安 全 不 確 認	167	2	162
交 差 点 安 全 進 行	52		52
一 時 不 停 止	36		36
前 方 不 注 意	28		20
通 行 区 分	10		10
ハ ン ド ル 等 操 作 不 適	14		14
信 号 無 視	5		5
徐 行 場 所 違 反	2		2
予 測 不 適			
優 先 通 行 妨 害 等	1		1
そ の 他 の 違 反	9		9
調 査 不 能	10	1	9
違 反 な し	113		113
合 計	608	3	596

11 二輪車の交通事故

(1) 発生状況

区分	令和2年	令和元年	増減数
発生(件)	420	579	-159
死者(人)	3	4	-1
負傷者(人)	377	527	-150

※ 二輪車の交通事故件数は、二輪車が第1当事者及び第2当事者となった交通事故件数をいう。

(2) 年代別発生状況

区分	発生(件)	死者(人)	負傷者(人)
若者	中学生		
	高校生	12	12
	一般少年	49	1
20～24歳	43		37
高齢者	92	2	73
その他	224		210
合計	420	3	377

(3) 道路形状別発生状況

区分	発生(件)	死者(人)	負傷者(人)
交差点	196	1	183
交差点付近	35		31
直線	144		120
カーブ	30	2	28
一般交通の場所	11		11
その他	4		4
合計	420	3	377

(4) 原因別発生状況

区分	発生(件)	死者(人)	負傷者(人)
動静不注視	129		116
安全不確認	67		58
交差点安全進行			46
前方不注意	39		25
ハンドル等操作不適	36		35
一時不停止	3		2
通行区分	1		1
右折違反	2	1	1
安全速度	6		6
信号無視	7		5
優先通行妨害	1		1
徐行場所違反	2		2
予測不適	2		1
最高速度	1	1	
追越し違反	1		1
その他の違反	58		8
調査不能	7	1	5
違反なし	58		62
対象外当事者			2
合計	420	3	377

12 安全運転管理者事業所の交通事故(業務中及び出・退社中の第1当事者)

(1) 発生状況

区 分	令和2年	令和元年	増減数
発 生(件)	267	378	-111
死 者(人)	2	1	1
負傷者(人)	283	409	-126

(2) 運転経過年数別発生状況

区 分	発 生(件)	死 者(人)	負傷者(人)
1年未満	4		4
3年未満	17	1	17
5年未満	24		26
10年未満	33		36
10年以上	189	1	200
無免許			
合 計	267	2	283

(3) 通行目的別発生状況

区 分	業務中	出勤中	退社中	合 計
発 生 (件)	146	73	48	267
死 者 (人)	2			2
負 傷 者 (人)	155	77	51	283

(4) 原因別発生状況

区 分	発 生(件)	死 者(人)	負傷者(人)
前 方 不 注 意	77		88
動 静 不 注 視	52	1	53
安 全 不 確 認	75		78
ハンドル等操作不適	13		14
交差点安全進行	15		16
一 時 不 停 止	3		3
信 号 無 視	9		9
歩 行 者 妨 害 等	8		8
安 全 速 度	2		2
徐 行 場 所 違 反	1		1
通 行 区 分	1		1
右 折 違 反	1		1
左 折 違 反	1		1
優先通行妨害等			
横断自転車妨害等	1		1
そ の 他 の 違 反	8	1	7
調 査 不 能			
合 計	267	2	283

13 運転免許保有者数・免許証自主返納者数の推移

(1) 運転免許保有者数の推移(人)

区 分	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	前年比
全保有者数	761,618	758,369	754,330	749,010	744,885	-4,125
若者保有者数	51,315	50,291	49,018	47,249	46,648	-601
高齢保有者数	202,404	208,778	214,104	218,622	222,833	4,211

※ 平成28年からの増減率

- ・ 全保有者数 - 2.2 %
- ・ 若者保有者数 - 9.1 %
- ・ 高齢保有者数 + 10.1 %

(2) 免許証自主返納者数(申請による取消し)の推移(人)

区 分	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	前年比
全年齢返納者数	2,990	3,958	4,150	5,110	4,505	-605
高齢者返納者数	2,907	3,870	4,094	5,008	4,389	-619

※ 平成28年からの増減率

- ・ 全年齢返納者数 + 50.7 %
- ・ 高齢者返納者数 + 51.0 %

14 令和3年度の主な交通安全活動計画

月別	行 事 名
4月	・春の全国交通安全運動（6～15日）
5月	・自転車マナーアップ強化月間
6月	
7月	・夏の交通安全県民総ぐるみ運動（11～20日）
8月	
9月	・秋の全国交通安全運動（21～30日）
10月	
11月	・夕暮れ時の「早めの点灯」・「ピカピカ」運動（11/1～1/31）
12月	・飲酒運転根絶強化月間
1月	・新春交通安全の集い（5日）
2月	
3月	
<p>※ 日を定めて行う運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月10日 「脇見・ぼんやり運転等追放」及び「全席シートベルト・チャイルドシート着用」推進の日 ・ 毎月20日 自転車・交差点マナーアップ推進の日 ・ 毎月30日 高齢者交通安全の日及び「全席シートベルト・チャイルドシート着用」推進の日 ・ 4月10日及び国指定日 交通事故死ゼロを目指す日 	

15 宮崎県交通事故相談所の業務案内

1 宮崎県交通事故相談所

(1) 場 所

宮崎市橘通東二丁目10番1号
県庁1号館 4階

(2) 相談日時

月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）
09：00～12：00
13：00～15：30
（受付は15：00まで）

※ 面談による相談を希望される方は、事前に電話でお申し込みください。

(3) 電話相談

相談員による電話相談を受け付けています。
宮崎県交通事故相談所

電話 0985-26-7039
（受付時間は、上記相談日時に同じです。）

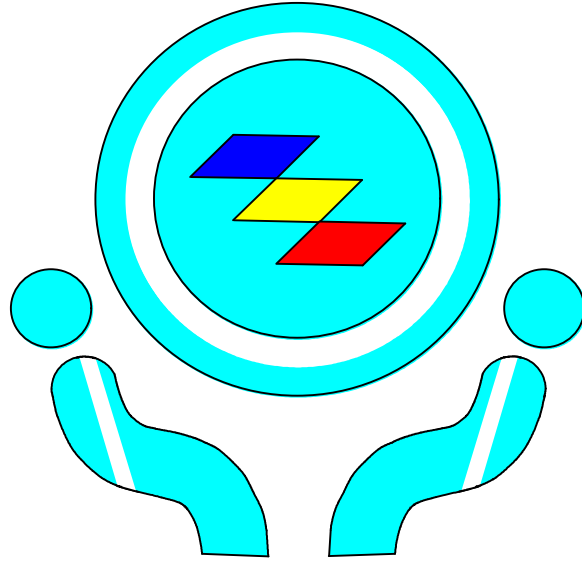
2 市町村等が設置している交通事故相談

※ 令和3年2月現在

- 宮崎市交通事故相談
宮崎市役所本庁舎4階
月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）
09：15～12：00
13：00～16：00
（受付は15：00まで）
電話 0985-44-2802
- 都城市交通事故相談
都城市役所東館2階
月・火・木・金曜日（祝日、年末年始を除く）
09：00～16：00
電話 0986-23-0944
- 西都市交通事故相談
西都地区交通安全協会
月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）
09：00～17：00
電話 0983-43-0294

令和3年 度宮崎県交通安全スローガン

- ◆高齢者交通事故防止を呼びかけるもの
「年の功 経験活かし 事故防止」
- ◆脇見・ぼんやり運転等追放を呼びかけるもの
「一瞬の わき見ぼんやり 事故一生」
- ◆飲酒運転根絶を呼びかけるもの
「飲酒運転 するもさせるも 皆同罪」
- ◆自転車の安全利用を呼びかけるもの
「自転車も 歩行者守って 安全運転」
- ◆横断歩道における歩行者優先を呼びかけるもの
「横断歩道 歩行者いたら 赤信号」
- ◆夕暮れ時や夜間における反射材の着用を呼びかけるもの
「反射材 あなたの命を 守る盾」



宮 崎 県 交 通 安 全
シ ン ボ ル マ ー ク